SEプラス6月成果発表会　読み上げ原稿

チーム源田

みなさんこんにちは。ただいまより、チーム源田による6月成果発表会を行います。

本日はこのような機会を設けていただき、また、多くの企業担当者様に足を運んでいただき、感謝申し上げます。お昼ご飯の前ということで皆様お疲れかと存じますが、お付き合いいただけますと幸いです。

今回の発表の目次といたしましては、御覧の通りです。

初めに、**「テーマとペルソナ」**についてです。発表する内容に課されたテーマとそれをこなすためのペルソナについてお話しします。次に**「プロジェクトの概要」**です。定義したペルソナに対して私たちができることは何かを考えた結果をお話しします。そのあと、メインコンテンツとして**「機能の紹介」**を行います。実際にページを動かしながら、工夫した点や苦労した点についてお話しできたらと考えています。では早速進めていきましょう。

まずは「テーマとペルソナ」についてです。

今回課せられたプロジェクトテーマ**「日々、会社で仕事をしている社会人が、ほぼ毎日利用することで、幸せになる、便利になるWebアプリ」**に対して私たちは、アプリを使用する対象としてペルソナを考えました。彼の名前は源田くんです。気弱な性格の新人・源田くんの悩みは、「質問をすると怒られてしまうのではないかと思ってしまうこと」でした。お聞きのみなさんの中にも、自分の疑問のレベルがわからず、質問することを躊躇ってしまう、という方がいらっしゃるのではないでしょうか。

このようなペルソナを設定したうえで、ここからは、「プロジェクトの概要」についてお話しします。「質問したいけど…」と躊躇ってしまうという悩みは誰しもが感じうるものでありながら、解決できれば新人の学習意欲向上につながるものでもあります。では、恐れずに質問するためにはどのようにすればよいでしょうか。必要なのは「匿名性」です。誰が質問したのかわからない状態であれば、質問者は遠慮なく質問を行うことができます。ただこれだけでは、質問者しか使用することがありません。そこで、ユーザの幅を会社全体へと広げるために、匿名性を生かした「掲示板」として拡張しました。

こちらは、今回制作したサイトのロゴになります。質問や催し事の募集、簡単な相談ができる場所を「中庭」に例え、「質問しやすいみんなの中庭」として開発を行いました。「中庭掲示板」は、質問したい新人のためのアプリとして、さらには会社内の匿名コミュニケーションツールとして機能します。

ここからは、実際にアプリを見ながら説明を行っていきます。画面共有を行いますので、少々お待ちください。みなさま、画面は見えておりますでしょうか。見えていない場合はリアクションボタンでお知らせください。問題ないようですので、進めます。ページを進めながら、各ページで特に工夫した点、技術的に難関だった点もお話できればと思います。

ログイン画面はこのようになっています。左側にはロゴと、簡単なアプリの紹介があります。右側には入力欄があります。ログインする前の画面はすべてこのレイアウトに統一されています。最初に表示される画面は、御覧のようにタブによって分けられた、ログインと新規登録を行うことができる画面です。私事ですが、5月時点ではこのタブメニューを実装することができなかったので、今このように動いてくれていることが非常にうれしいです。

私たちも含め、皆様がいろんなサイトで行っているこのログインや新規登録ですが、作ってみると、セキュリティを担保するためには様々な機能が必要であることを実感しました。

まず、ユーザ情報として必要になるのは御覧の情報です。上から氏名、任意のID、任意のPW、社員番号、秘密の質問とその回答の6つです。データベース上の主キーはIDです。

適切な情報が入力された場合、このような確認画面が表示され、登録ボタンを押すと次回以降この情報でログインを行うことができます。

しかし、ログインや新規登録のための情報の入力には、さまざまはイレギュラーが想定されます。まず、新規登録時の入力情報が不足していた場合。これはそれぞれの入力欄にrequired属性を付与すること解決しました。次に、入力されようとした社員番号、ID、あるいはその両方が既に使用されているものであった場合。これは、それぞれ場合分けを行い、エラー画面に推移することで解決しました。その際、そのままログイン画面に戻ると、修正が必要な要素以外は直前に入寮した内容を保持しているようになっています。PWとそれを再度入力したものが一致しなかった場合も同様です。新規登録に関するエラー分岐は以上です。

続いて、ログイン時のイレギュラーです。皆様も経験があることでしょう。IDやPWを忘れてしまったときの機能を備えています。IDを忘れた場合は社員番号を、PW  
を忘れた場合はIDを入力し、あっていれば新規登録時の設定した秘密の質問が表示されるようになっています。これに正しく回答した場合、IDを忘れた人には自分のIDを表示する画面が、PWを忘れた人には新しくPWを設定する画面が表示されます。ここでも、入力されたIDや社員番号が正しくない場合、存在しない場合、秘密の質問への回答が誤っていた場合はエラー画面に遷移するようになっています。

さて、ちゃんと過不足なく新規登録した人や、IDとPWをちゃんと覚えていた人は、これらのエラー画面を見ることなくHOME画面に移動することができます。ログイン後の全画面には、このようなログアウトアイコンが設置されています。

デザイン面の余談ですが、ロゴにもあるように、今回のデザインのコンセプトは「青い花が咲く中庭」としました。全体を通して青を基調として制作し、ところどころに花が咲いているようなデザインになっています。青色には気持ちを落ち着かせたり、集中力をあげたりする心理効果があるとされ、仕事中に見るツールとしての配慮も行っています。

　さて、HOME画面には、主に二つのコンテンツがあります。目を引く第一コンテンツには、新着のタイトルが5つ並ぶようになっています。デフォルトではすべての掲示板のデータを時系列順に並べて新しい順に5つ並ぶようになっていますが、ここに表示する内容は設定画面でカスタマイズすることができます。この設定画面ではPWの変更も行うことができます。HOMEに戻ります。

新着情報の下には「質問」「趣味」「相談」の３つに分けられたカテゴリ別の掲示板が並んでいます。「質問」カテゴリは、このアプリを制作するきっかけとなった「質問しやすい環境」のためのものです。「趣味」カテゴリは、例えば趣味を投稿して同じ趣味を持つ人を探したり、勤務時間外の催しに対する募集を行ったりすることを想定しています。「相談」カテゴリでは、健康やキャリアなどに対する相談を気軽に投稿できる空間として用意されています。当初はユーザが自由にカテゴリを追加できるような機能を想定していましたが、時間的な問題で今回は3つに限定するという選択を取りました。では、メインの掲示板機能を見ていきましょう。

HOME画面からカテゴリを選択すると、掲示板に投稿された内容をタイトルで一覧できるページに推移します。ヘッダーには各カテゴリ名が表示されています。このページは、フリーワード検索、新規投稿、既存の投稿を確認するという3つの機能を持っています。フリーワード検索では、入力したワードが本文に含まれる投稿を探すことができます。

メインとなる新規投稿機能は、このボタンをクリックするとポップアップで表示されるフォームによって行われます。タイトル、本文、ハッシュタグを記入する欄、そして匿名で投稿するか否かを選ぶスイッチがあります。ここで匿名を選択した場合、この投稿の投稿者はランダムに割り振られた動物の名前で表示されることになります。内容を記載し投稿を行うと、各カテゴリの掲示板の一番上に表示されます。クリックしてみましょう。

ここから投稿を確認した場合、投稿者なら投稿の削除を、投稿者でないなら返信を行うことができます。返信にも同様に匿名を選択する機能があり、匿名で対等に話すことができるようになっています。行われた返信はリプライツリーに追加されていきます。

一般ユーザが通常使用する機能は以上です。これらの機能は、質問しやすい職場をつくったり、社内コミュニケーションの発展を手助けしたり、さまざまな可能性を持っています。

さて、匿名という機能はこのように便利なものですが、特有の危険も持っています。それは「匿名による不適切な言動」です。匿名機能が社内いじめのきっかけになるようではいけません。この危険性を抑制するのが「通報機能」と「管理者モード」です。投稿やそれに対する返信には、その内容に対して通報を行うボタンが用意されています。

では、通報が行われた内容はどのように確認するのでしょうか。そこで用いられるのが「管理者モード」です。ユーザ情報の中には管理者か一般かを区別するステータスが格納されています。管理者ステータスを持ったユーザでログインしてみましょう。「Mode:」が管理者になり、先ほどはなかったReport、通報というアイコンがありますね。このアイコンは管理者ステータスを持っている人にしか見えないようになっています。このアイコンをクリックすると、通報された投稿や返信を一覧で見ることができます、タイトルをクリックすると、その投稿の何に対して通報が行われたのかも確認することができます。そして、その通報が行われた内容の投稿者の匿名をはがすことができます。この機能によってユーザは匿名性の危険性におびえることなく利用することができます。

管理者モードでは、設定画面にも変化があります。一般モードでもあったお気に入りワードとPWの再設定機能に加え、指定したIDから管理者権限を付与・剥奪する機能、指定した社員番号を変更する機能が追加されています。社員の変動や複数管理者が必要な場合に備えた機能です。このアプリを納品する際、管理者権限を持ったアカウントとともに納品することで、そこから管理者権限を持つアカウントを増やしていくという流れになります。

源田くんが少しでも気軽に質問できるように、意見を出し合い、分担しながら制作してまいりました。一緒に頑張ってくれたチームメンバーやDクラスの皆様、このような機会を与えてくださった各企業様、seプラスの講師の方々にお礼申し上げます。

駆け足ではありましたが、これでチーム源田の発表を終わります。ご清聴いただきありがとうございました。